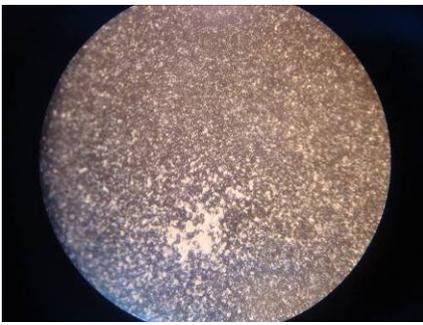
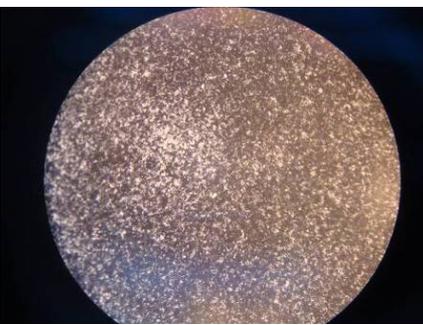
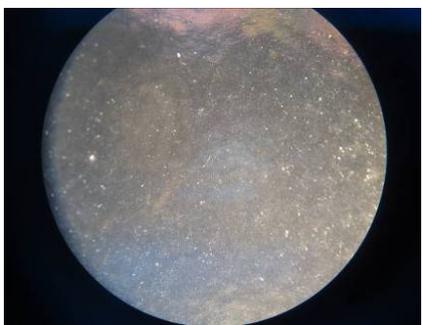
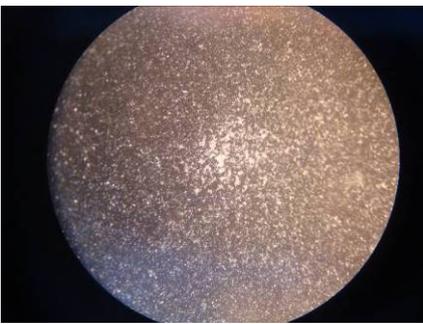
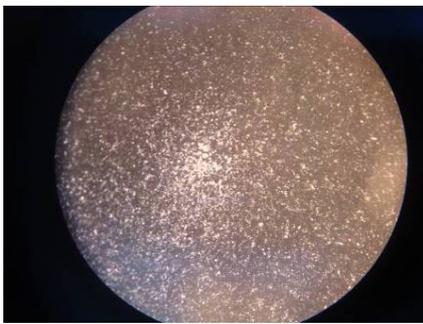
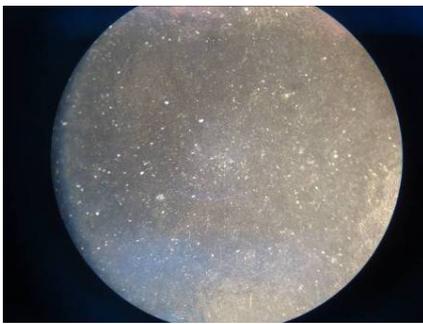


イブプロフェン+マンニトール+アイロジル高打圧打錠試験

目的	マンニトール含有量を増加させ、付着量の変化を観察する。
使用薬剤	イブプロフェン30%・マンニトール70%・アイロジル0, 5%
使用杵	鏡面+HCr・鏡面+CrN・EIP 以上3種類の上下の杵
回転数	40rpm
打圧	本圧上ロール 390kgf 本圧下ロール 350kgf 予圧上ロール 30 予圧下ロール 60kgf 押上圧力 10kgf 錠剤硬度 50~60N
試験方法	①表面処理の異なる杵を、タブレットマシンを使用して高打圧にて打錠する。 ②打錠時間を均一に設定して打錠する。 ③打錠後、顕微鏡にて打錠面を観察する

杵、打錠試験後の写真

		
鏡面+HCr 下杵 40rpm で 44 分打錠	鏡面+CrN 下杵 40rpm で 81 分打錠	EIP 下杵 40rpm で 81 分打錠
		
鏡面+HCr 上杵 40rpm で 44 分打錠	鏡面+CrN 上杵 40rpm で 81 分打錠	EIP 上杵 40rpm で 81 分打錠

結 果

- ◆ 鏡面+HCr
下杵・上杵共に、中心部に強い付着と、周りに膜状の付着が発生した。
- ◆ 鏡面+CrN
下杵には、中心部に粒状の付着と、周りに膜状の付着が発生した。
上杵には、中心部に粒状の付着が発生した。
- ◆ EIP
下杵・上杵共に付着が発生しなかった。

以上の結果から、EIP(BN 合金層)はステアリン酸マグネシウムを含有しない、イブプロフェン+マンニトール+アイロジルを高打圧で打錠できることが判明した。